

2020年度、地域資料室に入った新しい本



今回は、2020年度に地域資料室に入った図書・資料の一部を紹介します。掲載しきれなかった図書や、市内・県内の統計や年報、市政に関する新しい資料もまだまだありますので、地域資料室へどうぞ。

四日市に関係している

	資料名	著者	出版社	内容	貸出
★	L024 物語を売る小さな本屋の物語	鈴木潤/著	晶文社	書店	○
	L221 桑名藩家臣団と藩領社会	藤谷彰/著	清文堂出版	歴史	○
★	L223 近代産業の祖 伊藤小左衛門写真集 五世～七世	四郷ふるさと実行委員会/企画		人物	×
★	L289 三島由紀夫と死んだ男	犬塚潔/著	秀明大学出版会	人物	○
	L380 読み解き江戸ぐらし	四日市市立博物館/編集	四日市市立博物館	歴史	○
	L386 弥栄(いやさか)	南楠鯨船保存会/編	南楠鯨船保存会	祭り	×
	L402 よっかいちの自然 第3集	「よっかいちの自然」編集委員会/編集	四日市市環境部環境保全課	自然	○
★	L462 三重県における希少野生動植物の現状	四日市大学・四日市学研究会/編集	四日市大学・四日市学研究会	自然	○
	L519 汚染海域―伊勢湾・1972年	竹内敏信/著	JCIIフォトサロン	環境	○
	L519 四日市公害と環境未来館常設展示図録	四日市公害と環境未来館/編集	四日市公害と環境未来館	環境	○
	L573 輸出陶磁器と名古屋港	未吉順治/著	中日出版	萬古焼	○
	L573 調べてみよう!日本の伝統工芸のみりよく 3	伝統的工芸品産業振興協会/監修	ポプラ社	萬古焼	×
	L666 江戸日本橋商人の記録	澤登寛聡/編	勉誠出版	人物	○
	L673 イオンの歴史2020	イオン株式会社/編集	イオン	産業	×
	L686 日本珍景踏切	伊藤博康/著	創元社	四日市港	○
	L751 笹岡基三作品集	笹岡基三/作	笹岡禮子	萬古焼	○
	L936 犬がいた季節	伊吹有喜/著	双葉社	文学	○



三重県に関係している

	資料名	著者	出版社	内容	貸出
	L251 近世城下町の付祭りの変化	渡辺康代/著	海青社	歴史	○
	L260 水軍と海賊の戦国史	小川雄/著	平凡社	歴史	○
	L290 三重のええとこ写真集	多田良平/制作・撮影		紀行	○
	L290 東海自転車さんぽ	木村 雄二/著	風媒社	紀行	○
	L290 旗振り山と航空灯台	柴田昭彦/著	ナカニシヤ出版	地理	○
	L292 KOMONO	市川タカヒロ/撮影	LightsGallery	紀行	○
	L392 私はそこにいた	劇団すがお/編集	劇団すがお	戦争	×
	L472 いなべ市の植物	加田 勝敏/著	いなべ市	自然	×
	L666 真珠研究の今を伝える	渡部終五/編	恒星社厚生閣	産業	○
	L742 浅田撮影局	浅田政志/著	青幻舎	写真集	×
★	L902 三島由紀夫と神島	鳥羽市教育委員会/編集	鳥羽市教育委員会	文学	×
	L911 近代「国文学」の肖像 第3巻(佐々木信綱)	鈴木健一 他/編	岩波書店	文学	○

※ ★印は「pickup!!」で特集している資料です。

※ 注) 貸出欄が「×」となっても、地域資料室以外や市内の別の図書館で貸出できる資料もあります。

pickup!!

2020年度、地域資料室に入った新しい本

ここでは、担当職員が、特に気になった本を紹介します！

『物語を売る小さな本屋の物語』 鈴木 潤／著 (L024//20)

子どもの本専門店「メリーゴーランド」の京都店の店長・鈴木潤さんの本。子どもの頃、様々な経験、そして店長としての奮闘、京都での暮らしと人々の出会いまで、鈴木さんの「物語」が書かれています。

突き動かされるような行動力、初めての場所で店長という肩書を背負って店を運営し、新しいものを生み出していく力と、仕事への直向き。冒頭に店を「畑」に例える文章が出てくるのですが、店をどのように愛し、育てているかが感じられ、「畑」という表現がしっくりきました。



『近代産業の祖 伊藤小左衛門写真集 五世～七世』 四郷ふるさと実行委員会/企画 (L223/1/20)

令和元年で生誕200年を迎えた伊藤小左衛門(5世)。本書は、それを記念して作られた写真集です。肖像画をはじめ、自宅や工場など仕事風景が収められており、写真に写る人々の表情が当時の臨場感を高めてくれます。
(※館内でご覧ください。禁帯出。)



『三重県における希少野生動植物の現状 —三重県指定希少野生動植物種について—』

(四日市大学講座⑮) 四日市大学・四日市学研究会/編集 (L462//20)

「自然大好き！」と思ってみえるみなさん。ちょっとこの本を手にとってみてください。

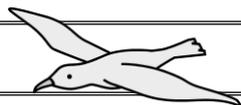
今まで人間は、自分たちの便利な生活と引き換えに、様々な影響を自然界に与えてきました。

この本では、あの可憐なうすピンク色の花を咲かせる「シデコブシ」(モクレン科)の個体数が急激に減少している事実が伝えられています。

「シデコブシ」という名前は、玉ぐしやしめ縄につけるシデ(四手)に似ているということからきています。天然記念物に指定され、三重県のレッドデータブック2015ではI B類にランクされている希少野生種です。

(詳しくは地域資料室でご覧ください。L462 //15)

また生育環境は限られており、東海地方の、丘陵地の水がしみ出す湿地に見られます。もちろん四日市市にも貴重な自生地があります。開発等によりその生育場所を奪われてきた、シデコブシはじめとする希少野生動植物を守っていくために、私たちにできることはあるのでしょうか。



昨年は、三島由紀夫没後50年ということで、関連本が多く出版され、地域資料室にも、2冊の本が入りました。

『三島由紀夫と死んだ男 森田必勝の生涯』 犬塚 潔 /著 (L289/EI/20)

森田必勝は、四日市市出身。高校までを四日市で過ごし、大学入学後三島由紀夫と出会い、三島由紀夫の結成した「盾の会」の学生長となり、いわゆる「三島事件」で共に割腹自殺しました。

同書では、家族や関係者の元に残る写真と共に、森田の生涯に焦点を当てて書かれています。

『三島由紀夫と神島 「潮騒」をめぐる人々』 鳥羽市教育委員会 /編集 (L902//20)

『潮騒』の舞台「歌島」のモデルとなった鳥羽市の「神島」。取材・執筆のために神島に滞在していた三島と地域の人々との交流を写真や書簡を通して紹介しています。(※館内でご覧ください。禁帯出。)

